

# 町政をたず

## 問 吉田町政どんな運営をしたの 達成度、自身の満足度は？

## 答 重点プロジェクト3つを掲げ進めてきた 町民、議員各位で御判断を



質問者の動画が  
視聴できます。

しちのへ 七戸 ひとし 均 議員



### 吉田町政の 運営について

問 七戸議員

吉田町政はどんな「ビジョン」の下に運営されたのか。現時点での達成度、また、町長御自身の満足度を伺いたい。

答 町長

就任当時の深浦町は、4年連続で赤字決算を出すという危機的な状況にあった。そこで、第一に財政の健全化への取組、それとともに、地域の6次産業化や住民協働のまちづくりを盛り上げて行こうと考えた。

町が考えること役場ができることには限度があり、民間町民が主体となって、地域産業の活性化や集落機能の維持に取り組んでいくことが必要だと思っている。

私の施策の柱は、第一次産業の振興、子育て支援の充実、未来を担う人材の育成、集落

の活性化、地域医療の充実、地方経済の復興と一貫している。

深浦町第二次総合計画では、将来の目指す姿を「まち」「ひと」「自然」がつなぐ、「わ」のまち ふかうら」とした。

計画の重点プロジェクトとして、「定住促進」、「第一次産業と観光業の融合による地域振興」、「地域医療・地域包括ケア推進」の3つを掲げ必要な施策を進めてきた。

町政の達成度、満足度については、政治家としての私の口から語るといよりは、町民、議員各位において、御判断いただければと考えてます。



### 未来の深浦町を住み よい町にするための 対策について

問 七戸議員

観光のシンボリック存在であったウエスパ椿山事業の廃止、高校の廃校、「ゆとり」温泉部門の廃止、商店街の寂れ様何にも増してこのころの灯が消えていつているように感じる。町の将来像を考えるに、日本一住みよい街を目指して、役場にプロジェクトチームを作つて写真真を描く考えはないか。

答 町長

若い世代で町政運営に関心のある方もいる。縦割行政の中で自分の意見や考えを表現する機会がないだけで、チームを組むことで建設的な議論が湧いてくると思う。早速、副町長に命じながらプロジェクトチームを立ち上げるようにする。